

子どもものの目線から見る世界

株式会社絵本ナビ取締役 奥平亨さんにインタビュー

中央区では、子育て世代の転入や出生数の増加などにより、子どもが増えています。子どもの目線を通して見る世界の豊かさや多様性、それが大人に与える「気づき」について、絵本のスペシャリストである奥平亨さんにお話を伺いました。

絵本との幸福な出会い

——絵本に関わるようになったきっかけをお聞かせください

私が大手書店に勤めていたとき、パパ's 絵本プロジェクトのイベントに遊びに行きました。メンバーの安藤哲也さんがお父さんの読み聞かせをしている方で、書店の業界では有名だったので憧れていました。それで「安藤さんに会いに行こう」と思ったのです。そこで安藤さんに声を掛けていただき、見ず知らずの子どもたちの前で初めて絵本を読みました。とても良い絵本だったこともあり、子どもたちがワーツと寄って来てくれるという幸福な体験をしました。その後、NPO法人ファザリー

ングジャパンを設立することになり、僕も設立メンバーの一人になりました。そのタイピングで現在勤めている会社の代表と出会い、インターネットを通して絵本を広めるビジネスへのお誘いを受けました。成長力のあるビジネスだと感じたことや、子どもが生まれたこともあり、絵本に関わることになりました。それと並行して、子どもたちに絵本を読んだり、絵本についてお話をさせていたいただきする機会を少しずつ得ていきました。

絵本の魅力、絵本の力

——絵本の魅力はどんなところにあるのでしょうか

絵本の魅力は多様性だと思いま

す。「声を出して読んであげる」ことが大原則で、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど、一人一人が自分の好きなものを楽しく読むことが大事です。10人いれば10通りの「好き」があり、子どもたちに多様な価値観を伝えることができます。

テレビ、ビデオ、ゲームは刺激の強い「速効性のメディア」ですが、絵本はじんわり効いてくる「遅効性のメディア」だと思います。自分が楽しいと思っても、タイミングによっては子どもに響かないことがあるかもしれません。逆に子どもが成長して、前は見向きもなかったものに急に興味を示すこともあ

最近の絵本の傾向

——最近の絵本の傾向をお聞かせいただけますか

児童文学ではいじめや貧困など子どもが抱えている問題を書いた作品が増えてるように感じます。日本の絵本にはそのようなテーマを取り上げた作品はまだ少ないですが、外国発の作品には先駆的に描かれているものがあります。

◆社会問題を描いた絵本

『あしたのための本』(1)〜(4)

これはスペインの絵本です。独裁主義、民主主義、社会格差、女と男を、しゃれた絵で描いています。実は40年以上前に出版されたシリーズで、当時から話題になっ





奥平 亨（おくだいら とおる）さん

大手書店勤務を経て、株式会社絵本ナビ取締役。父親であることを楽しむNPO 法人ファザーリングジャパンの設立に関わる。絵本の読み聞かせをはじめ、絵本の魅力を伝える活動を行っている。川崎パバ塾のメンバーとしても活動中。

ていました。外国発の作品は、絵の中にも人種差別に対する問題意識などが感じとれるようなものが増えていると思います。

『クレムとカニさん』—うみのためにできること

プラスチックゴミをテーマにした環境問題の絵本です。海辺が大好きな女の子が、カニさんの爪にレジ袋がひっかかって動けなく

辺の掃除をすることになった。自分たちにもできることがあるよというお話です。こういうものを読むことは、子どもが社会に目を向けるきっかけになりますね。

◆複雑な気持ちを描いた絵本 『つみつのビクビク』

主人公は外国に引っ越した子で、自分の中の「ビクビク」不安がどんどん大きくなって、学校に行けなくなってしまいます。あ

うまく対応できない子を強制的に学校に連れて行くのとは違う方法で支えなければならぬなどと考えさせられます。

『すきっていわなきやだめ?』

小説家の辻村深月さんがお書きになった本で、異性に対する恋、同性も含めてで

すが、「すき」って言わなければ伝わらないのか、人に対する複雑な感情を描いています。今の子どもたちはとても繊細で、息苦しさを感じていて、自分の言いたいことが言えるような魔法が欲しいとか思っている。それはその子だけの問題ではなく自然なこと、みんなも思っていることだよと伝えるような絵本がこれから少しずつ出てくるのではないかと気がします。

『あめだま』

これは韓国の作家さんの作品です。この絵本にはお母さんが出てきません。父子家庭です。作家さんご自身がそういうものを書いているとおっしゃっています。絵本が前提としてきた世界は、両親が揃っている家庭を想定したものが多く、それが果たしてよいのかと考え、自分もそういうものを作ってきたことを反省してこの作品を作ったということです。さまざま

な家庭があり、さまざまな事情がある。それぞれの人生があり、感じ方がある。そういうことをもつと表現していかなければいけないのではないかと思われたそうです。人の気持ちが聞こえる不思議なあめだまを通して、ある種の孤

独を抱えた子どもが状況を打開していくプロセスを描いた作品ですが、その背景には家族の形の変化などが反映されていると思います。そこにこれから絵本が伸びていく可能性があると思いますし、作家さんたちがもっと多様なコンテンツを作ってくれるのではないかと期待もあります。

◆子どもの柔軟な発想が、大人に「気づき」を与えてくれる絵本 『りゅうがおります』

子どもの気持ちをうまく捉えているという点では、ヨシタケシンスケさんの絵本が代表格だと思います。この作品は、子どもがついやってしまうくせみたいなのを、本当は理由があるんだと子どもならではの発想で解説しています。自分が小さいころはそうだったなと思いついたり、子どもにも理由があるんだなと思ったり、笑いを通して伝えていっています。

『おしっこちよっぴりもれたらう』

男の子がおしっこをちよっぴり漏らしてしまうことに悩み、他にそういう子がいないか探しますが、なかなか見つかりません。最後におじいちゃんが笑って、大丈夫、ちよっぴりだからすぐ乾くよ、



それにね、わしもちよっぴりもれたろうなんだよ、と言っんです。子どもにとって本当に救われる気持ちがある絵本です。

『みえるとか みえないとか』

多様性や違いを考える絵本です。こっちの常識はあっちの非常識、あっちの常識はこっちの非常識ということを面白いキャラクターを使って説明しています。物の相対化を楽しい絵で紹介しながら、多様性が大事だということを知ることができる

にこの絵本の力があると思いません。

『ほくのかえりみち』

主人公は学校からの帰り道、道路の白線のところだけ踏んで歩くのですが、家の前で白線がなくなってしまう。一歩も進めない状況を奈落の底に落ちそうなイメージで描いています。そこへ白い服を着たお母さんが帰ってきて、お母さんに飛び付いて無事に家に帰れた、というお話です。多くの人がこういう遊びや感覚を原体験として持っているのが不思議です。

『アプナイかえりみち』

これも学校からの帰り道のお話ですが、子どもたちの想像の世界では、車が恐竜だったり、友達

お母さんを危険な部族に見立てたり、大冒険が行われています。地域も冒険の場、遊び場になるという意味で、地元を見直すきっかけになるかもしれません。

もっと多くの人に気軽に絵本にふれてほしい

——区民へのメッセージをお願いします

僕は子育てをしてきて、もっと多くの人に気軽に絵本にふれてほしいと思っています。特にお父さんや地域のおじさんが絵本を通して子どもと関わる場をもっと設けてほしいと思います。読み方は自由ですし、好きなものを選び、絵本は子どもとの関わりをつくりやすいツールだと思います。

僕が住んでいる川崎市も中央区と同じく転入者が増えています。地縁を持たないお父さんたちが集まって地元を盛り上げていく川崎パパ塾は、行政から声を掛けていただいて、最初は僕が講師みたいな形で何って、そのときの受講生たちと一緒に活動を始めたのですが、意図的にそういう場をつくらないと、地縁のある方とない方の接点がありません。

地元で遊ぶのは良いことしかないと思います。お金はかからないし、住みやすい街ということで地域の価値は上がるし、子どもの知り合いが増えてサーフティネットが増えます。中央区は街の資産も豊かですし、楽しく子育てができるそうだなあと思いますね。

奥平さんご紹介の本のデータ

- 『あしたのための本』(1)~(4)
プランテルグループ作/宇野和美 訳
あかね書房 2019年
- 『クレムとカニさん』
—うみのためにできること
フィオナ・ランバース作/
久保純子 訳
文化出版局 2019年
- 『ひみつのピクピク』
フランスチェスカ・サンナ作/
なかがわちひろ 訳
廣済堂あかつき 2019年
- 『すきっていわなきやだめ?』
辻村深月 作/今日マチ子 絵/
瀧井朝世 編
岩崎書店 2019年
- 『あめだま』
ペク・ヒナ作/長谷川義史 訳
ブロンズ新社 2018年
- 『りゆうがあります』
ヨシタケシンスケ作/絵
PHP 研究所 2015年
- 『おしっこちよっぴりもれたろう』
ヨシタケシンスケ作/絵
PHP 研究所 2018年
- 『みえるとか みえないとか』
ヨシタケシンスケ作/伊藤亜紗 相談
アリス館 2018年
- 『ほくのかえりみち』
ひがしちから作 BL 出版 2008年
- 『アプナイかえりみち』
山本孝 作 ほるぷ出版 2013年

スタッフも読んでみました！

事業協力スタッフ
レポート

『それしかないわけ ないでしょう』

“みらいのせかいはたいへんなことばかり”と、お兄ちゃんから聞いた女の子は未来に不安を募らせる。おばあちゃんに相談してみるといきなり「だーいじょうぶよ!」「みらいはたーくさんあるんだから!」と教えてもらいほっと一安心。身の周りの大人が見せてくれる決められた未来や選択肢さらには先入観など、つまらなく思い、自分らしい自由な発想をするようになっていく。いろんな視点があるんだなあ、と改めて実感。

大人は必ずと言っていいほど二者択一で括ってくる。そんな正解はあり得ないし、いろんな選択肢があります。多様性が重んじられる時代です。みんな違っていいんです。女の子を諭したおばあちゃんはその未来には自分はいない、そのころには天国にいると言う。

そこで女の子は言う「それしかないわけ ないでしょう」と。女の子の未来を見つめるまなざしの純粋さに感動です。ヨシタケさんのキャラクターは最高にかわいいですね。

事業協力スタッフ 村田 進益



ヨシタケシンスケ作
白泉社 2018年

事業協力スタッフ
レポート

『なつみはなんにでもなれる』

この本は育児をされて、その体験から生まれた絵本がブレイク中のヨシタケシンスケさんの作品です。手に取ってみると、まずは絵がかわいらしくてほほ笑ましい限りです。内容は小さいなつみちゃんが寝る前に、いろいろなものまね(20以上)をして、お母さんに何のまねかを当ててもらいたいというお話です。

なつみちゃんは次から次へとまねを繰り出していきます。ページをめくるたびに、これは何のまねかしらとどきどきします。小さい子どもから見ると周りの世界はこんなふうに見えて、体を使って表すとあんなふうになるんだと改めて気付かされました。作者の的確な観察力に脱帽です。ところがお母さんの答えがなかなか当たりません。そして、お母さんの一つ一つのリアクションに大人はこんな対応をしているのだと思わず笑ってしまいます。なつみちゃんの最後のまねは何のまねだったのでしょ。本を閉じるとヒントがありました。

事業協力スタッフ 橋谷 信代



ヨシタケシンスケ作/絵
PHP 研究所 2016年

『ひみつのビクビク』

秘密の友達「ビクビク」は、誰もが心の中に密かに持っている不安や恐れ。いつもそばで守ってくれるから、本当に怖い目には遭わないし、冒険もできます。でも知らない国に引っ越して、わたしの「ビクビク」はどんどん大きくなり、学校も、みんなも、全部嫌いになってきた! そんなある日、話し掛けてきた男の子と遊んでいるうちに、その子にも「ビクビク」がいることがわかります。それからわたしの「ビクビク」はどんどん小さくなり、学校にも次第になじんでいきます。全ての子どもが自分の気持ちを表現し、心からくつろいで、友達と遊ぶ権利を描いた作品です。



フランスチェスカ・サンナ作/
ながわちひろ訳
廣済堂あかつき 2019年

『あめだま』

主人公のドンドンはいつも一人で、ビー玉で遊んでいました。新しいビー玉が欲しくて行った文房具屋で、不思議なあめだまを手に入れます。口に入れるといろいろな声が聞こえてきました。家のソファや飼い犬のグスリの声、いつも小言ばかり言うお父さんの心の声、亡くなったおばあちゃんの声…。落葉が舞い散る公園で聞いた「バイバイ」という声は、これまでの自分に別れを告げるドンドンの心臓だったのでしょうか。最後のあめだまを口に入れても何も聞こえません。ドンドンは公園にいた子に自分から声を掛けました。ドンドンが次第に心を開いて友達を見つけるまでを描いた、心の成長の物語です。



ベク・ヒナ作/
長谷川義史 訳
ブロンズ新社 2018年

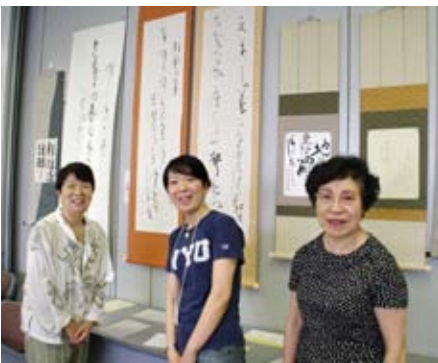
第18回中央区ブーケ祭りを開催しました！



「職場で、地域で、家庭で働く人々への応援歌」を合言葉に、男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて開催される「中央区ブーケ祭り」。「平成」から「令和」へと元号が変わり、第18回を迎える今年は「新たな時代も ブーケで Wai-Wai」をテーマに、6月21日（金）、22日（土）に開催しました。

会場となった女性センター「ブーケ21」では、31の参加団体による展示やパフォーマンスが行われ、1,400人近い来場者でにぎわいました。

展示



かな書道を親しむ会 かな書道を中心とした作品の展示と、ワークショップを行いました



カトレアグループ 色とりどりの花を使ったフラワー・アレンジメントの体験を行いました



オスビーの会 コーヒーとお菓子の販売と手芸作品を展示しました



銀座育成婦人会 年間計画の展示と小物作りのワークショップを行いました



京橋防火女性の会 防災の布を使ってアームカバーを作りました



カラーの会・アヌビス あなたの心の色は何色？ カラーセラピーを行いました

展示



中央区環境保全ネットワーク 身近な水の大切さについてみんなで考えるワークショップを行いました



茶々クラブ
お茶のお点前と作法を学びました



傾聴ボランティアグループうさぎの会
傾聴の活動状況を写真とパネルで紹介しました



中央区女性海外研修者の会 「台所から世界が見える」(モンゴル料理)の様子を紹介しました



中央区消費者友の会 ゲノム操作食品、VOC(揮発性有機化合物)の問題を紹介しました



中央区社会福祉協議会 社会福祉協議会のさまざまな事業を紹介しました



中央区つつじ会 手芸教室の作品展示と小物作りの体験を行いました



中央区女性ネットワーク
2018年度の活動内容を紹介します



中央区女性史勉強会 近代文化発祥の地(築地居留地)を探る活動を紹介しました



東京都下水道局桜橋第二ポンプ所 施設見学と紙芝居で豪雨時の浸水から街を守る下水道について紹介しました



東京建築士会 女性委員会
住まいに関する建築相談窓口を開設しました



中央区文化財サポーター協会 歴史や文化など、魅力がいっぱいの街歩きを紹介しました

展示



FLAP はばたき
住まいと相続の無料相談会を実施しました



人形教室みやび会 木目込み人形、押絵を中心とした作品を展示しました



日本橋モラロジー事務所 誰とでも挨拶することの大切さ、安心な街について考えました

パフォーマンス



レイ・ロケラニ
表情も豊かに、笑顔でフラダンスを踊りました



新婦人女性の地位向上委員会
クイズ形式による産直運動の紹介と、絵手紙を展示しました



女性センター 事業協カスタッフの活動やワーク・ライフ・バランス認定企業を紹介しました



桜川 麟の会 気功と太極拳の練習風景を紹介するとともに、太極拳の演武を行いました



新婦人コーラス エーデルワイスの会
歌うことは健康に良いため参加者も一緒に歌いました



音和会 盆踊り、三味線と歌を披露しました



朗読の会 福知トシ作「疎開保育」と他2編を群読しました



Show Girl Fantastic
楽しいショートコントを演じました

朗読ボランティアグループわかはや会
「おしてもだめなら」、「日日是好日」の一部を朗読しました



わすれな草 日頃の練習風景を再現し、成果を発表しました



アマービレ
メンバー全員で参加し、1人ずつ歌いました



ブーケ祭り実行委員会では、道化師の格好で心のケアをするクラウン・ワン・ジャパンによる楽しいパフォーマンスや、普段使いからいざという時の備えまで風呂敷1枚の活用法の講習を行いました。また、折り鶴ウェーブ、クイズラリー、震災復興支援の南三陸わかめ頒布、カフェ・軽食コーナーも実施しました。



◆クラウン・ワン・ジャパン

「クラウン(道化師)と遊ぼう！」



▲リーダーの金本麻里子さん



▲保育園の子どもたちともごあいさつ

クラウン・ワン・ジャパンのファミリーが6月21日(金)、中央区ブーケ祭りにやって来ました。道化師の格好で心のケアをするケアリンググループです。

赤鼻ピエロのクラウンマリちゃんをはじめ、赤鼻ファミリーがバルーンを作ったり、楽器を弾いたり、掛け声がとてにぎやかです。私たちも一緒に遊び、一緒に笑い、ときめく幸せがいっぱいあふれていました。

事業協カスタッフ 村田進益



◆日本風呂敷協会



「風呂敷1枚でできるバッグ包みと災害時活用法」

講師は日本風呂敷協会東京支部の^{だいくはらさとこ}大工原智子さんです。私たちにはなじみ深い風呂敷ですが、今回は色といい、デザインといい、とてもすてきな風呂敷を紹介してくださいました。そのたびに歓声も上がりました。そして、次々に包み方を教えていただき、特にペットボトルの包み方やショルダーバッグになる結び方は「すぐにでも使ってみたい！」と思いました。また、レジ袋の代わりとしてのエコバッグ、災害時に役立つ応急処置、防寒用としての使い方も体験できました。盛りだくさんの内容にあっという間に時間となりました。

事業協カスタッフ 橋谷信代



▲さまざまな包み方



▲講師の大工原智子さん

◀災害時には防寒用にも



▲舞妓さんをデザインした華やかな風呂敷



▲避難場所でのストレッチの道具に

◆クイズラリー



◆カフェ・軽食コーナー



◆被災地支援 南三陸わかめ頒布

◆「折り鶴ウェーブ」 —中央区おもてなしプロジェクト—

「スポーツと平和の祭典」である東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催の機会に国内外から中央区を訪れる人々に対し、平和の象徴である折り鶴を作って手渡し、おもてなしをするプロジェクトです。ブーケ祭りの参加者にも折り鶴を作っていました。



水曜イベント「東京2020」目録！中央区スタイルのおもてなし

報告 第一回
街に「ふれあいポリス」
〜築地警察署のお話〜

7月3日(水)、築地警察署から女性2人、男性2人の警察官をお迎えし、水曜イベントトークを開催しました。ふれあいポリスは、制服ではなくワイシャツにオレンジ色のベストを着て、地域の祭りや町会の清掃活動などに参加し、顔を覚えてもらい、困ったことや異変があれば相談に乗っています。「そういう声を聞いて、しかるべきところにつなぐのがふれあいポリスの仕事です」とお話しされていました。



報告 第二回
世界初！ギネス認定ロボットが働く
ホテル〜変なホテルのお話〜

8月7日(水)、変なホテル東京銀座のマネージャー川村啓祐さんをお迎えし、時代やニーズに応じて進化し続ける同ホテルのおもてなしについて、お話を伺いました。



川村啓祐さん

「変なホテル」という名前には、「変わり続けることを約束するホテル」というコンセプトが込められています。人に代わってさまざまな業務をこなすロボットなどの先進技術を導入し、枕やマットレスを独自に開発するなど、常に宿泊客にワクワク感と快適性を提供し続けることを追求しています。

フロントには人間型または怪獣型のロボットを配置し、ホテルの立地環境によつて組み合わせを変えることで、変なホテル東京銀座は女性と男性のロボットを配置する予定でしたが、開業時に男性型ロボットの開発が間に合わず、女性2人になったとのことでした。現在はお客様サポートや清掃など人間が担う部分がありますが、将来は完全に無人化したいとのこと、働く環境改善につながるお話しも聞きました。

報告
女性のための再就職支援
「キャリア講座」

6月6日(木)、6月27日(木)、7月11日(木)の3回にわたり、「キャリア講座」を開催しました。第3回は日浦敬子さんを講師にお迎えして、パソコンスキルを基礎と就職活動に役立つ文書の作成方法を実践的に学びました。



日浦敬子さん

前半は、効率的に文書を作成するためのテクニックを教わりました。初めに、キーボードからさまざまな操作を素早く行えるショートカットキーの使い方を練習しました。その上で、画像を文書に取り込んだり、Wordに組み込まれている便利な機能を活用して、季節のあいさつを入れたり、文字の大きさや位置をそろえたりする方法を駆使して、ビジネス文書の送付には欠かせない添え状を作成しました。

後半は、就職活動で使用する履歴書や職務経歴書を作りました。履歴書はWordで作成してあるフォーマットを使い、職務経歴書は表形式で作成しました。本文の文字の書体や大きさを統一すると読みやすく、見出しは書体や文字の大きさを変えて目立たせるなど、わかりやすい書類作成のアドバイスもありました。

報告
ほっと一息私時間
インテリアとしても使える「アロマワックスサンエ」好きな香りとお花を選んで、火を灯さないアロマキャンドルを作ろう！

奇数月の第3水曜日の午前中に開催する「ほっと一息私時間」。7月はアトキヤンドル協会認定作家の田中千紘さんをお迎えして、クローゼットやドアノブなどに掛けて香りを楽しむアロマワックスサンエを作りました。



田中千紘さん

最初に、ドライフラワーやハーブ、レースなど好きな材料を選び、型の中におさまるように配置します。次に、好きな香料を選んで紙コップに入れ、温めたワックスを注いでしっかり混ぜます。ワックスはすぐに固まるので素早く型に流し込み、その上に表面を飾るドライフラワーを載せます。ワックスが完全に固まる前に、端からセンターくらいのところにリボンを通すための穴を開けます。完全に固まったら型から取り出し、穴にリボンを通して完成です。材料の選び方、配置の仕方に参加者一人一人のセンスや個性が表れていました。飾る場所は、日光があまり当たらない所がよいとのことでした。





酒井美重子さん



報告 中央区・東京商工会議所中央支部主催
女性活躍推進が企業の未来を拓く

7月18日(木)、ルミエール株式会社代表取締役の酒井美重子さんを講師に迎え、令和の時代の働き方改革を実現させるために必要なことをお話しいただきました。

女性活躍推進法改正のポイントは、101人以上300人以下の企業にも行動計画の策定や実績公表を義務化するなど、中小企業の取り組みを加速化することにあります。

実際に取り組みを進めるには、組織のトップが問題意識を持ち、強いメッセージを発信すること、トップの関与の下に継続的な実務体制を設けることが重要であり、時間的な制約を持つ人々が働き続けられるように、多様性のある柔軟な働き方の工夫をすることが必要とお話しされていました。

また、職場における無意識の偏見が女性の能力開発や活躍推進を妨げる障壁となっていることにも触れ、能力の違いは性差ではなく個人差と認識し、個々の能力を生かした人材を育成する意識改革が必要とのことでした。

働き方改革の事例をたくさんご紹介いただき、具体的にわかりやすい講座でした。

令和元年10月・11月に開催される講座などのご案内

*会場は、男女共同参画セミナーは中央区役所、その他は女性センター「ブーケ21」です。
*募集は広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」発行後です。詳しくは広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」をご覧ください。

講座名	日時	講師	内容	対象など	「区のおしらせ ちゅうおう」掲載号
女性のための再就職支援 「キャリア講座」 秋コース 託児	10月17日(木) A 午前9時30分～ 10時55分 B 午前11時5分～ 12時30分	栗原知女さん (キャリアコンサルタント)	A 段取りよく仕事を進めるためのIT活用術 B 具体的な仕事探しのポイント(女性しごと応援テラス) * A、B どちらか一方の参加も可能です。	離職した方で、再就職を希望する女性 30名(先着順)・ 無料	8月11日号
「キャリア相談」 託児	一人一人の状況に応じた個別のカウンセリングを行います。 日時など詳細はお問い合わせください。			先着順・無料	
男女共同参画講座 「みんなで考えるメディアリテラシー講座」～深読みして楽しむ! ディズニープリンセスはどう変わっていったのか～ 託児	10月19日(土) 午前10時～正午	国広陽子さん (武蔵大学名誉教授)	メディアリテラシーの基本的な説明とその必要性を知り、偏見をなくするためにジェンダー視点を持つことの大切さを学びます。また、「ディズニープリンセス」を題材にしたワークショップも行います。	30名程度(先着順)・ 無料	9月11日号
男女共同参画セミナー 「職場のパワーハラスメント対応とメンタルヘルスケア」 主催：中央区 東京都労働相談情報センター	11月14日(木) 午後6時30分～ 8時30分 ----- 11月19日(火) 午後6時30分～ 8時30分	新村響子さん (弁護士) ----- 矢島新子さん (医学博士・産業医・労働衛生コンサルタント・山野美容芸術短期大学客員教授)	「パワーハラスメントの実態と対処法」 ・指導か、パワハラか ・パワーハラスメントの実態・裁判例 ・法改正 企業のパワハラ防止義務 ・パワーハラスメントへの対処法 ----- 「働く人のメンタルヘルス対策」 ・ストレスのメカニズム ・職場のストレスとメンタルヘルス ・ストレスへの対処とセルフケア	事業主、人事労務担当者、その他関心のある方・各回 100名(先着順)・ 無料	10月1日号
男女共同参画助成事業 親子で歌ってリフレッシュ! 主催：子育てリーダーCHUO	11月2日(土) 午前10時～ 11時30分	たいら いさおさん (童謡歌手・NHK「おかあさんといっしょ」第3代歌のお兄さん)	親子で楽しめる童謡・あそび歌などをみんなで一緒に歌い、楽しいひと時を過ごしましょう。	区内在住の0歳から小学校低学年までのお子さんとその保護者25組(先着順)・無料	10月1日号

*申し込み方法は広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」をご覧ください。

託児 は申し込み締め切り日および定員あり

申し込み・連絡先

女性センター「ブーケ21」
電話番号
03-5543-0651
ホームページ
QRコード



中央区ホームページの電子申請からもお申し込みいただけます。

パネル展の日程

女性センター「ブーケ21」 1階ロビー	11月9日(土)から 12月26日(木)まで
月島区民センター 1階ロビー	11月9日(土)から 11月15日(金)まで
日本橋区民センター 1階エントランスホール	11月16日(土)から 11月21日(木)まで
区役所本庁舎1階ロビー	11月22日(金)から 11月28日(木)まで

毎年、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、女性に対する暴力の防止を呼び掛けるパネル展を実施します。

お知らせ

女性に対する暴力をなくす運動 パネル展

21へお問い合わせください。

※応募方法は女性センター「ブーケ21」

- 認定式 令和2年4月
- 締切 11月29日(金)(必着)
- 対象 区内に事務所を置き、常時雇用する従業員数が300人以下の企業、一般社団法人、一般財団法人など
- 対象 区内に事務所を置き、常時雇用する従業員数が300人以下の企業、一般社団法人、一般財団法人など

募集

ワークライフ・バランス推進企業の募集について

仕事と子育て・介護との両立支援や長時間労働削減など働きやすい職場の実現に向け取り組んでいる事業所を中央区ワークライフ・バランス推進企業として認定しています。

テーマ **自分を信じて～明日は、きっと笑顔に！～**



講師の coron えりかさん

講演 **「私らしく～音楽と共に歩む平和への道」**

講師 **coron えりかさん** (ソプラノ歌手、駐日ベネズエラ大使夫人)

映画 **『ANNIE / アニー』** 2014年 / アメリカ映画

7月6日(土)、中央区女性ネットワークと中央区の共催により、日本橋社会教育会館ホールにて「講演と映画のつどい」を開催しました。

第14回となる今年の「講演と映画のつどい」はソプラノ歌手であり、駐日ベネズエラ大使夫人の coron えりかさんを講師に迎えて、「私らしく～音楽と共に歩む平和への道」という題でお話をさせていただきました。

4児の母であり、ソプラノ歌手として、世界中で長崎からの平和への祈りを歌にのせて発信し続け、無償の音楽プログラムで教育活動をしていらっしゃる coron さんは、とても美しく華やかな方でした。

映像で紹介された若者や障害を持つ子どもたちが音楽に取り組むパワフルでひたむきな姿には、私も思わず体が動き胸が熱くなりました。

そして、最後に歌っていただいた「被爆のマリアに捧げる賛歌」の美しいソプラノの歌声は会場の隅々まで響き渡り、温かな感動に満たされました。

また講演の後に上映した映画『ANNIE / アニー』はとても楽しく心の温まる映画でした。若い親子連れやご夫妻で参加された方の姿も増えて、大変うれしく感じました。

中央区女性ネットワーク会長 前田 佳美



館長雑記



パパと子どもたちの「ブーケ」

▶第18回の「ブーケ祭り」が盛況のうちに終わりました。展示も、パフォーマンスもそれぞれ充実して、とても楽しいものになりました。私は、というと、1階のブース周りをうろうろして、来館する方々にごあいさつしたりするので精一杯でした。▶たくさんの方にお会いできましたが、今年、とても目立ったのは、常連さんたちに交じって、土曜日に、小さなお子さんを連れてやってこられた若いパパたちでした。お子さんたちはみんなとてもうれしそうにパパと手をつないで目を輝かせています。スタンプラリーがあること、スタンプをそろえると景品があることなどをお伝えすると、父子そろって、「ありがとう、じゃあ行こう」と勇んで館内巡りに出発する様子も、いかにも「休日の父子」らしく、ほほ笑ましいものでした。▶勝手に推理すると、この方たちの多くは、たぶん近年中央区に移り住んだご家族だったのではないのでしょうか。中央区の新しい住民の方に「ブーケ21」を認識していただき、お子さんたちがまだ小さいうちから家族でその目的を共有していただけるなら、こんなうれしいことはありませんよね。「がんばってねー!」と応援したい気持ちと、「これからもよろしく!」とお願いしたい気持ちで、結局うろうろするばかりの私でした。(松川 淳子)

「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者等や交際相手からの暴力をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 03-5543-0653 (相談無料、秘密厳守)

電話相談(予約不要) 毎週月曜日 10:00～16:00 (ただし祝日、年末年始を除く)

面談相談(予約制) 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30
(ただし祝日、年末年始を除く) *託児付き(要予約)
上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人一人が自分らしく生きることができる地域社会を目指す拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 中央区湊一丁目1番1号
電話番号 03-5543-0651
ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>
◆開館時間 午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」(深川車庫前⇄東京駅八重洲口/豊洲駅前・明石町経由) 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分 入船三丁目下車 徒歩3分 「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

